

「おちんちんが痛い」「娘の下着におりもの？」

今日は**亀頭包皮炎**と**外陰腫炎**のおはなしです。

亀頭包皮炎

亀頭包皮炎（きとうほうひえん）は男の子の病気です。「おちんちんが痛い」と言ってきたり、おしっこをするのを嫌がったりします。おちんちんを見ると皮（包皮）の先が腫れたり、赤くなったり、時にはパンツに黄色い膿が付いていることもあります。こんな時は亀頭包皮炎が疑われます。こどものおちんちんは通常、包茎（包皮がかぶっていること）です。このため、亀頭と包皮の間にあか（恥垢）がたまって細菌が繁殖し炎症をおこしやすいのです。特におむつをしている時は亀頭包皮炎になりやすく、また、汚れた手でおちんちんをさわってなることもあります。

治療 まずはできれば包皮をむいて洗ってあげます。ゴシゴシ洗うと刺激が強いののでやさしく洗ってあげてください。強いシャワーは刺激が強いので、弱い水流にするか、ペットボトルにお湯を入れて流してあげるとよいでしょう。包皮がむけないようなら無理にむく必要はないので、できる範囲で洗いましょう。その後、抗菌剤入りの軟膏をつけます。炎症が強ければ、抗菌剤の内服をする場合もあります。こうすれば2～3日でよくなってくるはずですよ。

予防 普段から包皮をむいて洗ってあげることですが、むけないようなら無理にむかなくて大丈夫です。できる範囲で洗ってください。おむつはこまめに換えましょう。亀頭包皮炎を繰り返したり、包茎についてご心配でしたらぜひご相談ください。

外陰腫炎

外陰腫炎（がいいんちつえん）は女の子の病気です。女の子のおむつやパンツに黄色いおりものが付いたり、陰部をかゆがったりすることがあります。女の子の陰部は前からおしっこの出口（尿道口）、膣口、肛門と並んでいて、それらが近くににあります。このため、細菌が尿道や膣に入りやすいのです。

治療 まず外陰部をきれいに洗ってあげましょう。外陰部のひだの間もきれいに洗います。これだけでよくなることもあります。炎症が強ければ抗菌剤入りの軟膏をつけたり、抗菌剤を内服したりします。

予防 普段からこまめにおむつ換えをして陰部をきれいにしていることですが、うんちをした後にお尻を拭く場合、（お子さんを仰向けにして）上から下（前から後ろ）に拭くようにするとうんちの中の細菌が膣に入りにくくなります。また、お風呂に入ったときは陰部をきれいに洗ってあげましょう。

こういったこと（特に男の子の場合）はお母さんからなかなか言い出しにくいかもしれませんが、お父さんやご家族内の男性に協力をお願いしてみるのもいいかもしれません。自由が丘メディカルプラザ 小児科には男性医師・女性医師がおりますので、どちらでもお話ししやすいように声をかけていただければと思います。

高嶋 能文



たかしま よしふみ

高嶋 能文

山梨医科大学卒
日本小児科学会専門医
日本血液学会血液専門医
日本がん治療認定医
日本性感染症学会会員
日本エイズ学会会員

自由が丘メディカルプラザ 小児科

東京都目黒区自由が丘2-11-16
ニューパルビュー3F
TEL: 03-5731-3565

<http://www.jiyugaokamp.com/s>